

商業高校で教材「明るい未来へ TRY！」を活用して授業実践！

～より多くの高校生の損保リテラシー向上のため、商業科へのアプローチを開始～

日本損害保険協会関東支部千葉損保会（会長：坂井 泰生・三井住友海上火災保険株式会社 千葉支店長）では、これまで高校生の損保リテラシーの向上について、主に家庭科・公民科の教員に教材「明るい未来へ TRY！」を活用した授業実践を呼びかけていましたが、商業科ではより実学に近い授業が行われており、高校卒業後社会に出て損害保険に携わる生徒等が一定数いることから、高校で民間保険についてより深く理解することが将来様々な場面で役立つと考え、今年度から商業科での授業実践を開始しました。

商業科の高校に授業実践を呼びかけるにあたり、公益財団法人全国商業高等学校協会から、「商業科向けには「消費者目線」での損害保険教育に加え、事業者の「ビジネス目線」のポイントを加えた方がより生徒に効果的である」とのアドバイスをいただいたことから、講義用の説明資料に事業者向け損害保険の内容を新規に盛り込み充実を図りました。

千葉県商業教育研究会の幹事校である千葉県立千葉商業高校から、同研究会において教材「明るい未来へ TRY！」について説明の機会をいただき、本教材の必要性を県内の商業高校の関係教員に広く呼びかけました。また、千葉県立千葉商業高校には本教材の学ぶ必要性をご理解いただいた結果、今般、2 年生の「ビジネス法規」の授業で当支部職員が講師となり授業実践を行う運びとなりました。

アンケートでは、授業に「大変満足した、満足した」との回答が 83%、「大変理解できた、理解できた」との回答が 79%との結果となりました。また、「自分が今後生活していくうえで必要な損害保険が分かった」、「会社が契約する損害保険の種類や役割について学ぶことができた」等の感想が寄せられました。なお、同校商業科の担当教員からは「動画やイラストがあり、生徒も理解しやすかった。」「保険」の授業がある「ビジネス基礎」や「ビジネスマネジメント」で取り上げるのも良いのではないかと等のコメントがありました。今後、千葉県においては、複数の商業高校での授業実践を予定しており、引続き授業内容の向上を図っていくとともに、当支部では、商業高校の教員が自ら本教材を活用して授業実践が行われるように各種サポートしていきます。

当支部では、教育関係団体や商業高校等と連携して、引き続き、高校生の損保リテラシー向上に係る活動を推進してまいります。

（ご参考） 「明るい未来へ TRY！」 <https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0014.html>



教材を説明する関東支部職員



授業の様子（ビジネス法規）